

しん すい 浸水ひなん地図の目的

本市では、おおむね時間雨量 67mm の雨に対応できるように市街地の河川及び下水道の整備を順次進めています。

しかし近年、局地的な大雨など、整備水準を超える雨が増えています。本市においても平成 15、16 年及び 26 年にこのような大雨が降り、床上、床下浸水などの大きな被害が発生しました。河川や下水道の施設を整備するだけでは、被害を抑えることが難しくなっています。

こうしたことから、**地域の皆さんに、浸水しやすい区域や浸水の深さを把握していただき、日ごろから大雨への備えに活用していただく目的で「浸水ひなん地図」を作成しました。**

しん すい 浸水ひなん地図とは

浸水ひなん地図は、**内水はん濫**で発生する浸水の区域と深さなどを表示した地図情報と、浸水への対応や避難場所などを記載しています。

しん すい 浸水ひなん地図の想定条件

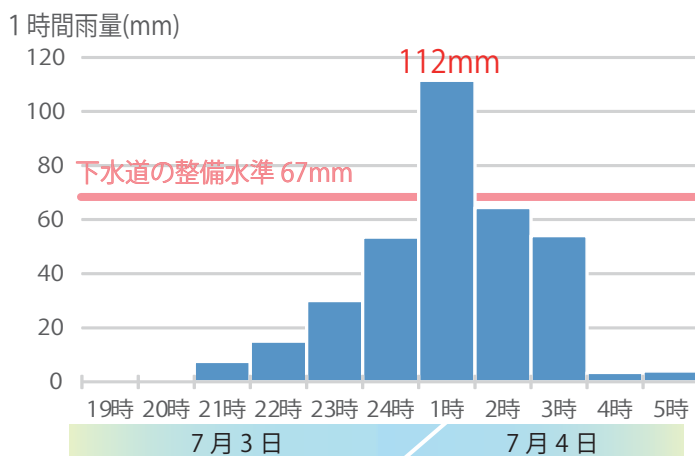
- ① 河川や下水道の施設等の整備状況は、平成 30 年 3 月末時点の状況を反映しています。
- ② 浸水発生の予測は、主要な水路や管きよ（おおむね幅 600mm 以上）を対象としています。
小さな水路や管きよ、道路側溝などは考慮していないため、雨の降り方によっては、実際の浸水区域が広がったり、浸水の深さが大きくなったりする場合があります。

しん すい 浸水ひなん地図の想定降雨

今回作成した浸水ひなん地図は、平成 15 年 7 月 3～4 日に、静岡地方気象台で観測した時間最大雨量 112mm の降雨を想定しています。

これは下水道の整備水準である時間雨量 67mm を大きく上回る降雨です。

当時は、洪水（外水はん濫）は発生していませんが、市内各所で内水はん濫が発生しました。



しん すい 浸水ひなん地図の作成について

今回作成した浸水ひなん地図は、「清水区北部地区」の市街化区域を対象として作成しています。浸水ひなん地図が未作成の地区は、これから順次作成・公表していきます。また、浸水対策の整備が進んだ場合や流域の状況に変化があった場合には、見直し（更新）を検討していきます。

〔用語の説明〕 下水道：この浸水ひなん地図では、水路や地下水路（暗きよ）など、雨水を流す施設を言う。
はん濫：大雨により河川や下水道から水があふれること。